

# 製品開発支援 2 機器を導入

県工技センター

徳島県立工業技術センター(徳島市)は、製造業者の新製品開発

などを支援する「CAEシステム」と「デジタルX線画像検査システム」を導入した。CAEシステムは、機械部品などの設計図から強度や伝熱、流体の解析をシミュレーションするソフト。試作品を作る前に性能を評価でき、製品の低コスト化と納期短縮を図れる。

デジタルX線画像検査システムは、X線照射によって機械部品の内部欠陥、構造などを調べる装置。画像が現像の必要なフィルムではなくデジタルで出力されるため、検査時間が大幅に短縮される。コンピュータ上での解析、保存も容易になる。

購入費は2機器で計2829万6千円。このうち3分の2に、公益財団法人JKA(東京)の補助金を充てる。1時間当たりの利用料は、CAEシステムが2270円、デジタルX線画像検査システムが3940円。デジタルX線画像検査システムを使った非破壊検査は1件につき4750円。申し込み、問い合わせは工技センター

☎088(635)7901

(湯浅翔子)